

皆さま、  
主のご復活の慶びを申し上げます。  
カトリック府中教会、アンドレアです。

弟子たちは、主の変容の山から下りるとき、「死者の中から復活する」とはどういう意味かと論じ合っていました（マルコ 9・10）。わたしたちにも同じことが起こるのだろうか。復活とはいかなることでしょうか。復活はわたしたちの経験の範囲内のことではありません。教会はわたしたちを理解に導こうとして、象徴的な言語によってこの神秘的な出来事を表現します。わたしたちは象徴的な言語によってこの驚くべき出来事がある程度仰ぎ見ることができるからです。復活徹夜祭に、教会は特に三つの象徴を通じてこの日の意味を示します。すなわち、光と水と新しい歌、すなわち「アレルヤ」です。

まず光です。復活によって、神の子は光として世に現れました。キリストは大いなる光です。この光からすべてのいのちが生まれます。今やわたしたちは、キリストとともに、キリストのために生きることによって、光の中を生きることができるようになりました。

洗礼の夜である、復活徹夜祭の第二の象徴は、水です。水がなければ、いのちはありません。洗礼は単なる清めではなく、新たな誕生です。わたしたちはキリストとともにいわば死の水に下ります。それは、新しい被造物としてよみがえるためです。キリストは生きた水の泉です。洗礼によって、主はわたしたちを光の人とするだけでなく、そこからのいのちの水が流れ出る泉としてくださいます。

復活徹夜祭の三番目の偉大な象徴は、新しい歌である「アレルヤ」を歌うことです。大きな喜びを体験したとき、人はそれを自分のうちに とどめておくことができません。人はこの喜びを表し、伝えずにはられません。主の救いの手がわたしたちを支えます。こうしてわたしたちは、すでに今、救いの歌を歌うことができます。復活した者の新しい歌を。アレルヤ。

復活されたイエスの祝福が皆さまの上に豊かにありますように。

